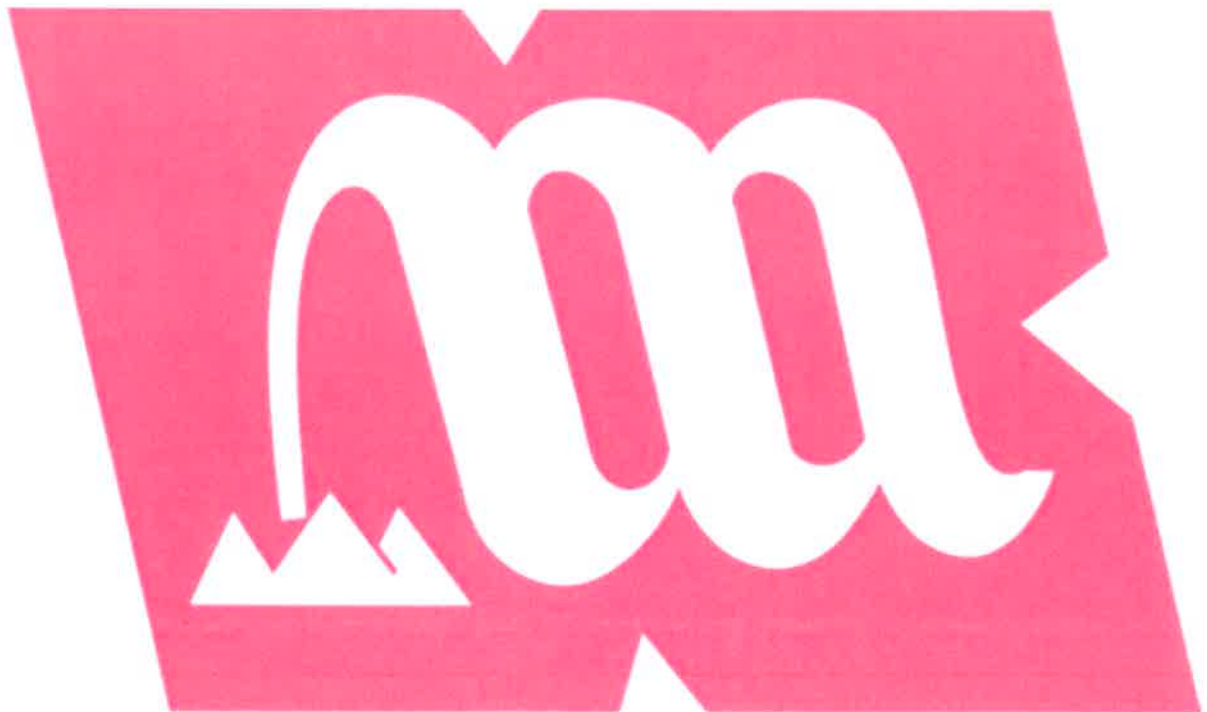


令和6年度

地域クラブ活動

参加資格の特例

各競技部細則



令和6年度 熊本県中学校総合体育大会

地域クラブ活動の参加資格の特例 各競技部細則

熊本県中学校体育連盟

□参加認定条件

- ①地域クラブ活動の参加資格の特例については、熊本県中学校総合体育大会開催基準「特別規程」による。
- ②「令和6年度 熊本県中学校総合体育大会への地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の各競技部細則」に合致した地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）であること。

競技部	細則
陸上競技	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none">1 日本中体連が示した参加規定を遵守している。2 日本陸連の団体登録をしている。3 熊本県中体連陸上競技専門部が設定する標準記録を突破した選手のみ参加可能とする。4 リレーに関しては、「地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」において、または登録メンバーが同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動1チームのみ参加可能とする。5 複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。
陸上競技 (駅伝競走)	<p>中体連大会主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。</p> <ol style="list-style-type: none">1 日本中体連が示した参加規程を遵守している。2 地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域スポーツ団体である。(※1)3 日本陸連への団体登録をしている。4 地域クラブ活動のチームとして参加する学校は、地域クラブ活動の予選会に出場することとし、各郡市中体連が主催する予選会への出場は認めない。 <p>※1 運動部活動の地域移行等に関する実践研究・実証事業の対象地区に該当する団体。または、各市町村が主導で地域移行を進めている団体。</p>
水泳競技	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、競技会の実施方法、参加方法については熊本県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none">1 地域クラブ活動からの参加要件 <p>(1)地域クラブ活動が(公財)日本水泳連盟への団体登録が完了していること。また、同じ内容で熊本県中学校体育連盟に登録していること。</p>

	<p>(2)地域クラブ活動の登録所在地が熊本県内であること。県外の場合は学校から参加すること。</p> <p>(3)地域クラブ活動で全国中学校水泳競技大会につながる予選大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。</p> <p>(4)全国中学校水泳競技大会につながる予選大会の申込締切から本大会終了まで出場団体の変更はできない。</p> <p>(5)全国中学校水泳競技大会の要項にしたがうこと。</p> <p>2 その他</p> <p>在籍中学校もしくは地域クラブ活動のどちらから参加するかは、生徒（選手）および保護者の意向を尊重すること。</p>
バスケットボール	<p>この細則は、必要に応じて毎年修正・改良を行う事とする。</p> <p>令和 6 年度地域移行スポーツ団体出場に関しては、以下の場合の出場を認める。なお、団体が大会参加を希望する場合には、都道府県中学校体育連盟及び、都道府県中学校体育連盟バスケットボール部が条件を満たしているか協議のうえで参加を認める。</p> <p>【出場を認めるスポーツ団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域移行スポーツ団体（※1） ・地域移行の受け皿となっているスポーツ団体（※2） <p>※1 運動部活動の地域移行等に関する実践研究・実証事業の対象地区が該当する。ただし、地区は該当していてもバスケットボール部が対象になっていない地区は該当しない。これとは別に、各市区町村が主導で地域移行を進めている場合にも該当する。</p> <p>※2 単独校での活動が困難であるなどの理由で日常的に活動が持続されており、複数校の生徒が参加する形態で活動している団体を意味する。あくまで地域移行の受け皿が主目的の団体を対象としているため、複数校から一部の選手のみ選抜された形でのスポーツ団体を意味するものではない。</p> <p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法 については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p>
サッカー	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下 の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法 については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域スポーツ団体等運営団体・母体 となるクラブ として U 15 チームがクラブユース連盟へ加盟登録 していないこと 。（※クラブユース連盟に所属しているクラブ内からは、いずれの U 15 チームおよびセカンドチームも出場できない） ②学校団体ではない場合は、JFA へのチーム登録をしていること 。 ③日本中体連が定める参加資格条件を満たすこと 。 ④『将来を見据えて地域クラブ活動を継続する団体』 （申請後3年以上の活動を継続できる団体）
ハンドボール	<p>1 熊本県中学校体育連盟に登録していること。（登録費はない）</p>

<p>ハンドボール</p>	<p>2 チーム・個人が日本ハンドボール協会に登録していること。(各大会 および予選大会(地区大会含む)への参加申し込み時にはチーム・選手共に登録が完了していること。二重登録は認めない。)</p> <p>3 参加地区は、日本ハンドボール協会への登録の際にチームの所在地を入力した場所とする。(例):代表者が神奈川県横浜市で登録するとチーム登録は横浜地区となる。</p> <p>4 チームは日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者のもとに適切に行われていること。また、指導者は(公財)日本ハンドボール協会の競技者及び役員倫理規定に基づく処分を受けていない者であることにする。</p> <p>5 スポーツ庁・熊本県の自治体のガイドラインを遵守していること。 「2 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進、3 適切な休養日の設定」を遵守。(平日の活動日数及び時間、土日の活動時間等はチーム所在地教育委員会のルールに準ずることなど)</p> <p>6 地域スポーツ団体名での出場は1チームのみとする。(1団体から複数チームの参加は不可とする。)</p> <p>7 合同チームについては、日本中学校体育連盟の規定に準ずる。</p> <p>8 日本協会が主催する全国クラブ大会および予選大会(地区大会含む)に参加した場合は中学校体育連盟が主催する全国中学校体育大会および予選大会(地区大会含む)への出場は認めない。</p> <p>9 クラブチームで熊本県中学校体育連盟が主催する大会に出場する場合、必ず代表者は、生徒の所属する学校長に参加することを連絡し、承認をえること。(書面通知・書式の指定なし)</p> <p>10 引率は責任がある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故に備え、傷害保険等に参加するなど、万全の事故対策を立てておくこと。(クラブに所属する生徒は怪我等があってもスポーツ振興センターの災害共済給付は適応されない。)</p> <p>11 熊本県における予選会(地区大会含む)となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。</p> <p>12 大会に(中学校体育連盟主催)参加した場合に守るべき条件 ・熊本県中学校体育連盟ハンドボール専門部の規則・運営方法に承諾した上での参加すること。 ・予選への参加のタイミング(地区・都道府県より)は各地区で異なるが、熊本県中学校体育連盟のハンドボール専門部の規則・運営方法に準ずること。(大会参加打合せ等に必ず参加し状況に応じて大会運営にも協力すること)</p> <p>13 移籍について ・移籍に関しては、日本協会の規定に基づいて可能だが、全中及び全国クラブ大会およびそれぞれの予選大会(地区大会含む)にエントリーした時点で他方の大会への出場は認めない。 (例)予選に負けた時点でチーム移籍した場合、チームでの活動は認めるが、移籍先のチームが勝ち上がっていても大会はエントリー不可であり出場は認めない。</p>
---------------	---

	<p>★上記の条件を満たさない、または参加条件に虚偽があった場合は参加を取り消す場合もある。</p> <p>★この内規は、スポーツ庁、日本中体連、および日本ハンドボール協会より通達等があった際に、通達内容に合わせ加筆・修正・変更・見直しを行い、都度情宣する。</p> <p>★チーム、選手の大会参加について疑義が生じた際は、日本中体連ハンドボール専門部において審議し、決定及び通達をする。</p>
軟式野球	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法 については熊本県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本中体連が示した参加規定を遵守している。 2 継続的に活動し、熊本県軟式野球連盟に加盟している。 3 指導者は以下に示すいずれかの資格を保有している。 <ul style="list-style-type: none"> ①日本スポーツ協会公認コーチ1(軟式野球) ②日本スポーツ協会公認コーチ3(軟式野球) ③BFJ 公認野球指導者基礎 I (U-15) <p>※監督の保有を必須とするが、保有していない場合には、コーチ(日常的に指導に関わり、メンバー登録される者)のうち最低1名の保有を必須とする。</p> 4 大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。 ※審判員については、「一般財団法人全日本野球協会アマチュア野球規則委員会公認3級審判員」以上の保有を必須とする。
体操競技	<ol style="list-style-type: none"> 1 団体・個人ともに参加を認める。 <出場の条件> 団体においては、すべての選手が同一学校に在籍している事。または、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」「地域移行の受け皿となっているクラブ活動」を条件とする。 2 登録について 中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されている事。 3 その他 令和 6 年度全国中学校体育大会夏季大会(16競技)地域クラブ活動における各競技部細則を遵守する。
新体操	<p>地域スポーツ団体等より全国中体連大会を含む予選大会に出場する場合は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法 については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本中学校体育連盟が示した参加規定を遵守している。 (2) 継続的に活動し、日本体操協会の所属団体及び指導者の登録をしている。 (3) 予選大会は地域スポーツ団体等の都道府県中体連および都道府県体操協会の登録住所からの参加を認める。※所属団体の所在地と登録する都道府県は同じであること。 (4) 予選大会は選手の所属学校または選手の所属する地域スポーツ団体等の都道府県か

	<p>ら出場できる。重複して異なる地域からの出場は認めない。地域スポーツ団体等の場合は、加盟した都道府県より出場できる。</p> <p>(5) 予選大会のエントリーは監督及び選手は一人につき一所属とする。</p> <p>※1 選手は所属クラブと在籍学校の重複エントリーはできない。同所属からのエントリーのみ個人、団体の両方に出場することができる。</p> <p>※2 予選大会の監督は上記(2)の登録を済ませている者で、他の所属の監督としては予選大会に参加できない。</p> <p>(6) 令和6年度の団体選手は全員が、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域移行クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているスポーツ団体等」又は同一学校に在籍していることを条件とする。</p> <p>(7) 団体の出場については、各所属から1チームのみとする。同一中学校からの部活とクラブチームの2チーム出場は、同じ学校から2チームとみなすことができるため出場は不可とする。</p> <p>(8) 地域スポーツ団体等の出場を認めた全ての大会において、競技役員や審判員などの運営上 必要な人員を派遣しなければならない。</p> <p>(9) 予選大会において、参加条件、申請内容等に虚偽が判明した場合は参加を認めない。</p>
バレーボール	<p>[1] 全国大会と全国大会につながる予選に参加できる地域スポーツ団体(クラブチーム)</p> <p>① ~⑨の全ての条件を満たすこと</p> <p>① (公財)日本中学校体育連盟からの発信『令和5年度からの全国中学校体育大会への地域スポーツ団体等の参加条件について「全国中学校体育大会開催基準 9引率監督参加資格の特例」』に記載されている内容を網羅していること。</p> <p>② JVA-MRS のチーム登録が完了していること。</p> <p>③ 所在地が明確であること。</p> <p>④ 募集要項やホームページ等で公募していること。</p> <p>⑤ 年間を通じて、日常持続的(週単位)に練習している場所と所在地が一致していること。資格を有する者が指導に当たっていること。※但し、~2025年令和7年3月31日までの期間は資格取得期間とする。</p> <p>⑥ JSPO 公認の指導者成人の指導者が常時指導に当たっていること。</p> <p>⑦ チームや団体として規約があること。</p> <p>⑧ JVA-MRS の個人登録が完了していること。</p> <p>⑨ 各種大会に大会役員として派遣できる指導者がいること。</p> <p>[2] 地域スポーツ団体(クラブチーム)の大会参加にむけての中学校体育連盟登録について</p> <p>① 登録…熊本県中学校体育連盟</p> <p>② 認定方法…下記の2点を基本とし審査する。</p> <p>○JVA-MRS でのチーム登録</p> <p>○熊本県中学校体育連盟からの様式による「登録申込書」の提出</p> <p>③ 申込期間…熊本県中学校体育連盟が設定した期間とする。</p>

	<p>[3]大会出場について</p> <p>① 全ての選手・スタッフは、熊本県大会予選より全国大会まで、一人同一のチームの登録とし、複数のチームから出場することはできない。チーム移籍した場合、個人登録後6カ月間出場を認めない。※これに違反した場合は、「当該選手・スタッフは次年度の大会参加は不可」・「本大会の結果を全て無効にする」等の罰則が発生する。(チーム移籍は部活動と地域スポーツ団体間も含む)</p> <p>② 各チームから大会に参加できるチームは1チームとする。○○A・○○Bは認めない。</p>
ソフトテニス	<ol style="list-style-type: none"> 1. 熊本県中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。 2. 日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に活動しており、日本ソフトテニス連盟にクラブチームとして登録され、選手が登録されていること。尚、令和6年度全国中学校総合体育大会出場の場合は本年度の日本中体連ソフトテニス競技の以下参加認定規定「(公財)日本スポーツ協会公認の「コーチI」以上の資格を有する者が在籍しており、大会においてベンチ入りする者はその資格保有者であること。ただし、当該年度は所得中の者でも可とする。」に該当していなければならない。 3. 熊本県中学校体育連盟に地域スポーツ活動認定を受けており、参加する代表者・指導者・選手が登録されていること。 4. 予選会も含め、全ての大会において、競技役員や審判などの運営上必要な事項に協力すること。 5. 大会申込み等の期日を厳守し、代表者会および監督会議等には代表者が必ず参加すること。 6. 大会要項および申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意・駐車場やマナー等の説明に従い、その関係するすべての生徒・応援・保護者も含めた参加者全員に周知徹底すると同時に指導助言を行い、大会を円滑に運営するために最大限の協力を得るための手段を執ること。 7. 大会申込み等の期日を厳守し、代表者会および監督会議等には代表者が必ず参加すること。 8. 大会参加にあたり、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。 9. 参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。 10. 各種申込期日を過ぎたり、代表者会および監督会議等に代表者が参加できない場合は参加を認めない。 11. この細則については、スポーツ庁・日本中体連・日本ソフトテニス連盟・熊本県ソフトテニス連盟より通達等があった場合に、通達内容に合わせて加筆・修正・変更・見直しを行い都度情宣する。
卓球	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p> <p>1 学校部活動が地域移行されたスポーツクラブとする(令和6年度の措置)。地域移行されたス</p>

	<p>ホーククラブかどうかの判断は以下を条件とする。</p> <p>●地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域移行スポーツ団体</p> <p>⇒各郡市町村教育委員会が認める地域移行の受け皿になっている地域クラブ活動等。</p> <p>2 日本卓球協会、各都道府県卓球連盟、各都道府県中体連の登録及び年会費の支払いを行っている。</p> <p>3 指導者は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(卓球公認コーチⅠ以上)を取得していること(令和6年度末までに取得し、資格取得者が必ず1名は在籍していること)</p> <p>4 地域クラブ活動の構成員は代表者、事務担当者、指導者、所属中学生とする。所属中学生以外は20歳以上の成人とする。</p> <p>5 団体戦・個人戦ともに同一団体からの出場とする。</p> <p>6 地域クラブ活動のある郡市中体連大会に参加する。</p>
バドミントン	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p> <p>1 日本中体連が示した参加規定を遵守している。</p> <p>2 継続的に活動し、日本バドミントン協会・都道府県協会に加盟している。</p> <p>3 指導者は以下に示すいずれかの資格を保有している者がいること。</p> <p>①日本協会公認審判員3級以上を取得している。</p> <p>②日本スポーツ協会公認指導者(R8からは必ず必要)</p> <p>4 代表者・指導者は成人(20歳以上)であること。</p> <p>5 大会運営、審判員派遣の依頼に対応できること。</p>
ソフトボール	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p> <p>1 日本中体連が示した参加規定を遵守している。</p> <p>2 継続的に活動し、年度当初に熊本県ソフトボール協会を通じて日本ソフトボール協会に登録している。</p> <p>3 大会運営に関して中体連に協力できる。</p>
柔道	<p>1、公益財団法人日本中学校体育連盟(以下、中体連)が定めた「全国中学校体育大会開催基準 9引率監督 参加資格の特例」に記載されている通りの手続きを行い、遵守する。</p> <p>2、全国中学校柔道大会(以下、全中大会)や各ブロック及び各都道府県中学校体育連盟柔道競技(専門)部(以下地区中体連)主催大会における地域スポーツ団体等の参加資格特例条件を次の通りとする。</p> <p>(1)各都道府県柔道連盟(協会)を通して全柔連に加盟、登録を済ませている。加盟、登録上、届け出をしている所在地の都道府県で参加することができる。</p> <p>①チームとして「団体登録」を済ませている → 団体戦に出場可</p> <p>②競技者として「競技者登録」を済ませている → 個人戦に出場可</p> <p>③同一年度中は、最初に参加した所属チームからの変更は認めない。</p>

	<p>※中学校部活動の場合、転校等による所属の変更について、一部、参加制限がある。</p> <p>(2)大会の引率、監督、帯同コーチは、全中大会、地区中体連主催大会において全柔連公認指導者資格を有していなければならない。</p> <p>(3)柔道修業期間を6カ月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。</p> <p>3、大会の引率、監督権を有している地域スポーツ団体等の指導者は、大会参加にあたり、各地区中体連が主催する説明会や研修会等に、必ず出席しなければならない。</p> <p>4、大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域スポーツ団体等の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和6年度内の参加を認めない。</p>
剣道	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法については熊本県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本中体連が示した参加規定を遵守している。 2 団体戦については、地域移行モデル地区や、自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域移行スポーツ団体、地域移行の受け皿となっているスポーツ団体等とする。 <p>●地域移行の受け皿となっているスポーツ団体</p> <p>⇒単独校での活動が困難であるなどの理由で日常的に活動が持続されており、複数校の生徒が参加する形態で活動している団体を意味する。あくまで地域移行の受け皿が主目的の団体を対象としているため、複数校から一部の選手のみ選抜された形でのスポーツ団体を意味するものではない。また、このような団体(前述の地域移行モデル地区や自治体主体で地域移行を進めるために発足した地域移行スポーツ団体を含む)は各郡市町村大会から参加することになるため、各郡市町村の助成金等を使って大会運営を行うことから、該当郡市町村以外の地区からの選手参加は認めない(私立中学校とは別の扱いとする)。</p> <p>⇒熊本県では、県教育委員会がモデル地区を指定して実施している総合型地域スポーツクラブの中で活動している競技のみ、条件を満たしているため、出場が認められる。したがって、現段階では、その他の地域クラブ活動の参加は認められない。(令和5年1月27日現在)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 団体戦・個人戦ともに同一団体からの出場とする。
相撲	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本中学校体育連盟が示した参加規定を遵守している。 2 熊本県の市町村内で常時活動を行っている団体である。熊本県内の中学校に在籍する中学生である。 3 エントリーする監督・選手全員が、(公財)日本相撲連盟に会員登録されている。 4 「熊本県中学校体育連盟 地域クラブ活動認定申請書」を熊本県中学校体育連盟事務局に提出し、4月30日(火)までに受理・承認されている。
弓道	<p>※特に細則は設けない。</p> <p>上記①熊本県中学校総合体育大会開催基準「特別規程」</p> <p>上記②「令和6年度 熊本県中学校総合体育大会への地域クラブ活動の参加資格の特例各競技部細則」に示される地域クラブ活動に所属の選手・監督・指導者であること。</p>

<p>空手道</p>	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法 については都道府県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 九州中体連が示した参加規定を遵守している。 2. 熊本県空手道連盟に加盟し、継続的に活動している地域クラブ部活動(道場)であること。 3. 団体戦については、組手、形ともに 1 チームずつ参加枠を認める。但し、1校で1チームを編成することができない場合の救済措置として参加を認める。条件は以下の通り。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 選手は、組手、形それぞれの種目において、1校から1名しか参加生徒がいないため、各郡市大会の団体戦に出場することを断念せざるを得ない生徒であること。 (2) 単一の地域クラブ活動(道場)で編成すること。 (3) 強化目的のチーム編成ではないこと。 4. 個人戦については、各種目2枠(2名)の参加を認める。団体戦で参加を認定されたチームからの参加を認める。ただし、チームに登録されている選手が3名以上の場合、各チームで選考を行い、選手を2名に絞ることとする。 5. 参加を検討しているチームは、必ず、事前説明会に参加をすること。説明会に参加していないチームの参加は認められない。熊本県空手道連盟を通じて、期日と場所は通知をする。
<p>テニス</p>	<p>中体連主催の大会に参加を希望する地域クラブ活動は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法 については熊本県中体連の開催基準に従うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 九州中体連が示した参加規定を遵守していること。 2 継続的に活動し、熊本県テニス協会並びに日本テニス協会に加盟していること。 3 大会において、競技役員や審判など運営上の依頼に対応できる人員を確保していること。